

「地域公共政策士」育成のための資格教育の科目認証に係る社会的認証申請書

平成〇〇年〇〇月〇〇日

一般財団法人 地域公共人材開発機構
代表理事 新 川 達 郎 殿

機関名 国立大学法人琉球大学

部署名 地域連携推進機構

(ふりがな)

代表者

印

貴団体の質保証（社会的認証）に関連する社会的認証基準並びに諸規程に賛同し、下記科目の社会的認証を申請致します。

記

科目名	教育要素	ポイント数
社会的インパクト投資基礎概論	政策得意分野づくり	2
地域企業（自治体）お題解決プログラム	政策基礎としての社会人基礎力	2
地域円卓会議マネジメント講座	政策研究の基礎知識	2
島嶼地域交流ファシリテーター養成講座	政策基礎としての社会人基礎力	2
クラウドファンディング実践講座	政策得意分野づくり	2
政策立案能力強化プログラム	政策研究の基礎知識	2

※行が不足する場合は、申請する科目すうに応じて行を足して下さい。

以 上

※科目名には申請する科目を1科目ごとに記載して下さい。教育要素には「政策研究の基礎知識」、「政策得意分野づくり」、「政策基礎としての社会人基礎力」のいずれかを記載して下さい。ポイント数には科目時間に応じた申請するポイント数を記載して下さい。

※「代表者」とは、学部長など資格教育プログラムを遂行するためのプログラム実施責任者のことを指す。

※「代表者印」の形式について指定はございません。プログラム実施機関にてご検討のうえ、捺印をお願いします。

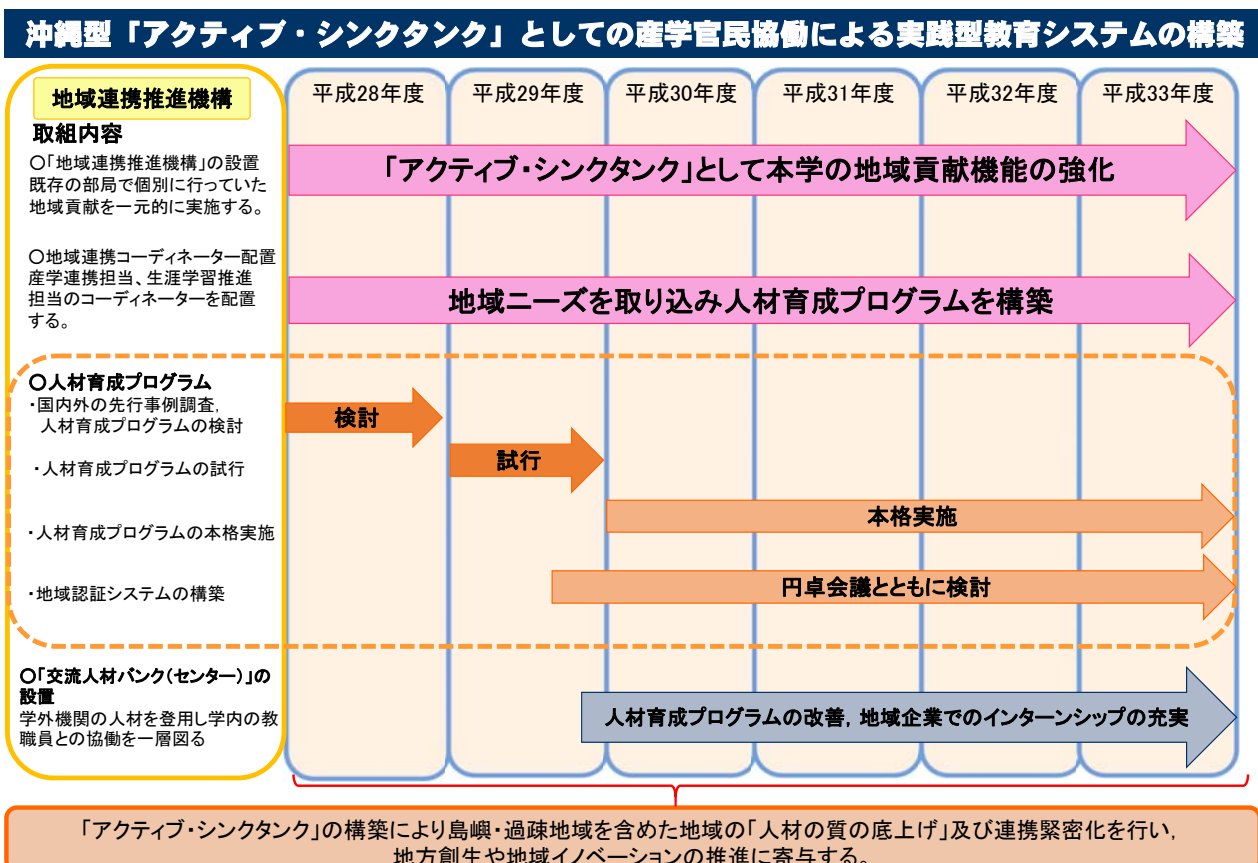
沖縄型「アクティブ・シンクタンク」としての 産学官民協働による実践型教育システムの構築

地域・政策人材育成分野 平成30年度第2回ワーキンググループ資料

日時: 2018年11月21日 16:00～18:00

場所: 琉球大学 地域国際学習センター 3階 304

1



2

平成30年度地域・政策人材育成分野ワーキンググループのスケジュール

		5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
ワーキンググループ	沖縄産学官協働人材育成円卓会議の検討事項をより実務的に審議するために、分野ごとにワーキンググループを開催	○WG						○WG			◎円卓会議開催(案)	○WG
目的別人材育成PG開発・試行	平成28年度に開発した政策形成能力強化プログラムの外部講師調整及び実施内容の再検討を行い、プログラムを試行	外部招聘講師調整・先進地調査 目的別人材育成プログラム実施										
地域認証システム検討	円卓会議メンバー、企業・団体、市町村等から地域認証に係るヒアリングを実施し、認証制度を導入している国内外の事例を調査	関係機関調整・先進地調査 地域認証システムの試行										

3

平成30年度地域の子どもを支援するインクルーシブ教育推進人材の育成ワーキンググループのスケジュール

		5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
ワーキンググループ	沖縄産学官協働人材育成円卓会議の検討事項をより実務的に審議するために、分野ごとにワーキンググループを開催	○WG				○WG					◎円卓会議開催(案)	○WG
目的別人材育成PG開発・試行	平成28年度に開発した政策形成能力強化プログラムの外部講師調整及び実施内容の再検討を行い、プログラムを試行	外部招聘講師調整・先進地調査										
		目的別人材育成プログラム実施										
地域認証システム検討	円卓会議メンバー、企業・団体、市町村等から地域認証に係るヒアリングを実施し、認証制度を導入している国内外の事例を調査	関係機関調整・先進地調査										
		地域認証システムの検討										

4

平成30年度ブロックチェーン技術者育成分野研究会(ワーキンググループ準備会)のスケジュール

		5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
ワーキンググループ	沖縄産学官協働人材育成円卓会議の検討事項をより実務的に審議するために、分野ごとにワーキンググループを開催				○ セミナー		○ WG	○ WG	○ WG	○ WG	◎ 円卓会議開催(案)	○ WG
目的別人材育成PG開発・試行	平成28年度に開発した政策形成能力強化プログラムの外部講師調整及び実施内容の再検討を行い、プログラムを試行	外部招聘講師調整・先進地調査							目的別人材育成プログラム実施			
地域認証システム検討	円卓会議メンバー、企業・団体、市町村等から地域認証に係るヒアリングを実施し、認証制度を導入している国内外の事例を調査	関係機関調整・先進地調査										

平成28年度開発プログラム(試行的)一覧

No	プログラム名	H28	H29	H30	H31	H32	H33
1	島嶼地域交流ファシリテーター養成講座	開発	実施	実施			
2	ソーシャルキャピタル構築講座	開発	実施	実施			
3	クラウドファンディング実践講座	開発	実施	実施			
4	社会的インパクト投資基礎概論	開発	実施	実施			
5	政策立案能力基礎プログラム	開発	実施	実施			
6	政策立案能力強化プログラム(公開授業)	開発	実施				
7	グローバルキャリアデザイン(公開授業)		開発・実施				
8	地域企業(自治体)お題解決プログラム2 (Community Based Learning)(公開授業)		開発・実施	実施			
9	沖縄型医工連携人材の育成プログラム		開発・実施	実施			
10	キャリアデザインとジェンダーⅡ			開発・実施			
11	地域円卓会議マネジメント講座			開発・実施			
12	地域の子どもを支援するインクルーシブ教育推進人材の育成プログラム		開発(継続)	開発・実施			
13	星空案内人養成講座			開発・実施			
14	IoTシステムセキュリティ実践講座(基礎編)			開発・実施			

平成28年度開発プログラム(試行的)一覧

No	プログラム名	H28	H29	H30	H31	H32	H33	
15	地域子ども総合支援者基礎講座			開発・実施				
16	地域子ども総合支援者養成講座			開発・実施				
17	ブロックチェーン技術基礎講座			開発	実施			
18	ブロックチェーン技術応用講座			開発	実施			
19	ブロックチェーンパイロットコース			開発・実施				
20								
21								
22								
23								
24								
25								

7

平成28年度開発プログラム(試行的)一覧

No	プログラム名	プログラム概要
1	島嶼地域交流ファシリテーター養成講座	島嶼地域である離島が持つ特性や地域が抱える課題等について、離島交流を促進するコーディネーター、ファシリテーターを育成する総論的な内容を扱う
2	ソーシャルキャピタル構築講座	沖縄の最重要課題として子どもの孤立や貧困等の地域が抱える課題について、地域とのつながりや異業種の連携、教育及び社会福祉等の地域事例となるケーススタディを中心に課題解決の手法を学修する総論的な内容を扱う
3	クラウドファンディング実践講座	地域が抱える課題を解決するため新たな資金調達手法である「クラウドファンディング」という手法で商品開発、サービス提供などの事業プランニングの手法を学修する総論的な内容を扱う
4	社会的インパクト投資基礎概論	沖縄という地域が持つ特性や地域が抱える課題等について、社会的インパクト投資という新しい形の課題解決の手法を学修する総論的な内容を扱う
5	政策立案能力基礎プログラム	沖縄という地域が持つ特性や地域が抱える課題等について、国や地方自治体の公共政策と地域社会を理解し、現場での現状を踏まえた実務経験を政策として形成することができる手法を学修する総論的な内容を扱う
6	政策立案能力強化プログラム	今帰仁村を素材として、地域活性化及び地域経営の具体的な課題を発見する。そのため今帰仁村の旧湧川小学校の廃校活用施設として立ち上げたあいあいファーム、北部の観光名所として全国区にした古宇利島のプロデュースの観光協会、今帰仁村の運天地区における米国オレゴン州ポートランドの手法を用いた、新たな民間主導ワークショップによる地域の拠点づくりについて学修する

8

平成29年度開発・実施プログラム一覧

No	プログラム名	プログラム概要
1	クラウドファンディング実践講座	地域が抱える課題を解決するため新たな資金調達手法である「クラウドファンディング」という手法で商品開発、サービス提供などの事業プランティングの手法を学修する総論的な内容を扱う
2	ソーシャルキャピタル構築講座	沖縄の最重要課題として子どもの孤立や貧困等の地域が抱える課題について、地域とのつながりや異業種の連携、教育及び社会福祉等の地域事例となるケーススタディを中心に課題解決の手法を学修する総論的な内容を扱う
3	島嶼地域交流ファシリテーター養成講座	島嶼地域である離島が持つ特性や地域が抱える課題等について、離島交流を促進するコーディネーター、ファシリテーターを育成する総論的な内容を扱う
4	グローバルキャリアデザイン (公開授業)	女性研究者、企業や自治体、NGO・NPOなど諸分野で活躍するロールモデルを講師に迎え、自らの研究や仕事、キャリアデザイン、ワーク・ライフ・バランスについて学修する。
5	地域企業(自治体)お題解決プログラム2 (Community Based Learning) (公開授業)	本講義は、県内企業および市町村(自治体)等から出される課題(ニーズ)を選定し、実際に課題解決にむけて活動することで、これからの社会に求められる社会人基礎力やキャリア観の醸成を図る。

9

平成29年度開発・実施プログラム一覧

No	プログラム名	プログラム概要
6	社会的インパクト投資基礎概論	沖縄という地域が持つ特性や地域が抱える課題等について、社会的インパクト投資という新しい形の課題解決の手法を学修する総論的な内容を扱う
7	政策立案能力基礎プログラム	沖縄という地域が持つ特性や地域が抱える課題等について、国や地方自治体の公共政策と地域社会を理解し、現場での現状を踏まえた実務経験を政策として形成することができる手法を学修する総論的な内容を扱う
8	政策立案能力強化プログラム (公開授業:地域経営基礎)	今帰仁村を素材として、地域活性化及び地域経営の具体的な課題を発見する。そのため今帰仁村の旧湧川小学校の廃校活用施設として立ち上げたあいあいファーム、北部の観光名所として全国区にした古宇利島のプロデュースの観光協会、今帰仁村の運天地区における米国オレゴン州ポートランドの手法を用いた、新たな民間主導ワークショップによる地域の拠点づくりについて学修する
9	沖縄型医工連携人材の育成プログラム	製造業を含め、ものづくり関連企業、医療機器開発企業が少ない沖縄において、医療機器開発・事業化でき、今後を担えるイノベーション視点、スキルを有する人材の育成を行う

10

平成30年度開発・実施プログラム

No	プログラム名	プログラム概要
1	地域企業(自治体)お題解決プログラム(Community Based Learning)	本講義は、県内市町村(自治体)で行われる課題解決プロジェクトにインターンとして参加し、実際に課題解決にむけて活動することで、これからの社会に求められる社会人基礎力やキャリア観の醸成を図る。
2	キャリアデザインとジェンダーⅡ	女性研究者、企業や自治体、NGO・NPOなど諸分野で活躍するロールモデルを講師に迎え、自らの研究や仕事、キャリアデザイン、ワーク・ライフ・バランスについて学修する。
3	政策立案能力基礎プログラム	沖縄という地域が持つ特性や地域が抱える課題等について、国や地方自治体の公共政策と地域社会を理解し、現場での現状を踏まえた実務経験を政策として形成することができる手法を学修する総論的な内容を扱う
4	クラウドファンディング実践講座	地域が抱える課題を解決するため新たな資金調達手法である「クラウドファンディング」という手法で商品開発、サービス提供などの事業プランティングの手法を学修する総論的な内容を扱う
5	社会的インパクト投資基礎概論	沖縄という地域が持つ特性や地域が抱える課題等について、社会的インパクト投資という新しい形の課題解決の手法を学修する総論的な内容を扱う
6	ソーシャルキャピタル構築講座	沖縄の最重要課題として子どもの孤立や貧困等の地域が抱える課題について、地域とのつながりや異業種の連携、教育及び社会福祉等の地域事例となるケーススタディを中心に課題解決の手法を学修する総論的な内容を扱う

11

平成30年度開発・実施プログラム

No	プログラム名	プログラム概要
7	島嶼地域交流ファシリテーター養成講座	島嶼地域である離島が持つ特性や地域が抱える課題等について、離島交流を促進するコーディネーター、ファシリテーターを育成する総論的な内容を扱う
8	地域円卓会議マネジメント講座	地域社会の課題の解決をめざす対話の場である「地域円卓会議」のマネジメントを行える人材の育成するため、ケーススタディを中心に課題解決の手法を学修する総論的な内容を扱う
9	地域子ども総合支援専門作業療法士育成プログラム	学校現場では発達障害を持つ児童生徒への対応が行き届かない現状において、作業療法士と教職員が連携をした子供達へのサポートできる人材の育成を行う
10	地域子ども総合支援者基礎講座	子ども支援を始めたい一般の方や学生を対象に、作業療法士が持つ知識や技術をどのように学校現場に活用しているのかを学び、こども達を取り巻く環境や支援者のネットワーク構築の状況を知り、共に活動できる人材の育成を行う
11	地域子ども総合支援者養成講座	地学校現場や行政担当者、NPO職員などの経験や知識を持っている方を対象に、子どもの地域生活支援及び学校生活支援に必要な知識と技術を学び、学校も家庭も専門家も安心してチームを作り、地域と連携をした子供達へのサポートできる人材の育成を行う

12

平成30年度開発・実施プログラム

No	プログラム名	プログラム概要
12	星空案内人養成講座	星空案内人®(星のソムリエ®)は、星空案内人資格認定講座を受講し、所定の単位を取得した人が取得できる資格であり、宇宙や天文の知識を有し、地域で星空や宇宙の世界、またその楽しみ方を教えることのできる人材の育成を行う
13	ブロックチェーンパイロットコース	ブロックチェーン技術は、分散台帳技術と呼ばれ、ネットワーク上の複数の参加者が安全にデータを共有して管理する仕組みであり、従来に比べて低コストでシステム構築できる可能性の持っている。ブロックチェーン技術を、証券取引、Fintech、不動産取引、シェアリングエコノミー、個人認証、電子政府等まで幅広く利用できる基礎的な技術習得をできる人材の育成を行う
14	IoTシステムセキュリティ実践講座(基礎編)	生活機器がインターネットにつながるIoT(Internet of Things)の時代が到来している。一方、これらの生活機器がサイバー攻撃に悪用されるインシデントが発生しており、国内外のサービスが一時的に利用不可になるような事例も発生している。これらのインシデントは、各IoT機器の基本的なセキュリティ設計や検証の不備が原因となっている事例が多いものとなっている。 本講座では、一般的となっているセキュリティ検証ツールを用いたIoT機器の脆弱性評価方法について学ぶほか、攻撃者がどのようなツールを使い、どのような視点から攻撃を仕掛けるのか、利用者にどのような影響があるのかを学ぶ基礎的な講習を行う。 本講座を通して情報セキュリティの基礎や対策の施行のための実践的な内容を受講者が習得することを目的とする。

13

平成30年度 地域・政策人材育成分野のプログラム

プログラム名	プログラム概要	プログラム計画	開催時期	連携機関	公開講座・授業
地域企業(自治体)お題解決プログラム(Community Based Learning)	本講義は、県内市町村(自治体)で行われる課題解決プロジェクトにインターンとして参加し、実際に課題解決にむけて活動することで、これからの社会に求められる社会人基礎力やキャリア観の醸成を図る。	1.オリエンテーション 2.地域による「テーマ」のプレゼン・チーム編成(課題毎の3チーム編成) 3.地域における実践活動(課題抽出と分析) 4.地域における実践活動(課題抽出と分析) 5.地域における実践活動(課題抽出と分析) 6.中間プレゼンテーション①・課題解決策の検討と各自の役割について確認 7.地域における実践活動(課題解決に向けた活動) 8.地域における実践活動(課題解決に向けた活動) 9.地域における実践活動(課題解決に向けた活動) 10.中間プレゼンテーション②・課題解決に向けた活動の進捗と成果 11.地域における実践活動(課題解決に対する新規提案作成) 12.地域における実践活動(課題解決に対する新規提案作成) 13.各テーマにおける活動の振り返り・最終プレゼンテーション準備 14.最終プレゼンテーション 15.まとめ	4月11日 ～8月1日、 10月9日 ～2月5日 毎週 毎週火曜日5限	大学 コン ソー シア ム沖 縄 等	公開授業(地域企業(自治体)お題解決プログラム)担当:松本剛、宮里大八) 受講生: 前学期 3人、 後学期 5人(学 外1人)

4

平成30年度 地域・政策人材育成分野のプログラム

プログラム名	プログラム概要	プログラム計画	開催時期	連携機関	公開講座・授業
キャリアデザインとジェンダーⅡ	女性研究者、企業や自治体、NGO・NPOなど諸分野で活躍するロールモデルを講師に迎え、自らの研究や仕事、キャリアデザイン、ワーク・ライフ・バランスについて学修する。	第1回 オリエンテーション グローバルキャリアデザインとジェンダー、地域貢献、地域創生 第2回 「モンゴル孤児支援、ダボス会議を経て世界の貧困解消に挑む」 第3回 キャリアデザインにおける人材多様化とジェンダー 第4回 「サンゴに優しい日焼け止めプロジェクト ～沖縄から世界を変える～」 第5回 「Body Sharing」に向けた研究と起業面での挑戦 第6回 「企業成長のためのダイバーシティ」 第7回 「女性議会議員としての仕事 ～LGBT宣言とマニフェストの事例～」 第8回 「世界への挑戦 ～グローバルキャリア時代の生き方」 第9回 「島ヤサイのミラクルパワー ～島ヤサイの健康効果を活かした実践的取り組み～」 第10回 中間振り返りグループワーク 第11回 「学生起業がちゆんの立ち上げ ～修学旅行生の受入れから性共育まで～」 第12回 「企業成長のためのダイバーシティ」 第13回 「世界の若者ウチナーンチュのネットワーク形成」 「沖縄の若者を世界へ RYU×RYUフェスタの取り組み」 第14回：グループ討論 第15回：最終プレゼンテーション（グループワーク発表）	10月4日 ～1月31日 毎週木曜日7限	リクルートホールディングス等	公開授業（地域企業（キャリアデザインとジェンダーⅡ担当：喜納育江、宮里大八） 受講生：26人（学外2人）

5

平成30年度 地域・政策人材育成分野のプログラム

プログラム名	プログラム概要	プログラム計画	開催時期	連携機関	公開講座・授業
政策立案能力基礎プログラム	沖縄という地域が持つ特性や地域が抱える課題等について、国や地方自治体の公共政策と地域社会を理解し、現場での現状を踏まえた実務経験を政策として形成することができる手法を学修する総論的な内容を扱う	1.市民調査論 2.市民性教育論～シチズンシップ教育 3.人づくりから住み続けられるまちを考える 4.政策形成論 5.メディア論～社会変革のための情報マネジメント～ 6.第1部：地域経営と政策立案 第2部：地域資源を活かすコーディネート～産学官民連携の事業事例から～	7月13日～8月19日	沖縄大学、沖縄国際大学、龍谷大学、浦添市森の子児童センター等	公開講座 受講生：19人

平成30年度 地域・政策人材育成分野のプログラム

プログラム名	プログラム概要	プログラム計画	開催時期	連携機関	公開講座・授業
社会的インパクト投資基礎概論	沖縄という地域が持つ特性や地域が抱える課題等について、社会的インパクト投資という新しい形の課題解決の手法を学修する総論的な内容を扱う	1～3. 沖縄の地域振興の現状と課題、社会的インパクト投資の潮流 4～6. ソーシャルインパクトボンド(SIB)の概要、国内外の事例 7～8. SIB導入可能性調査プロセス 9～11. 社会的課題の設定とチームビルディング 12～14. SIB導入可能性調査(グループワーク) 15. グループ別のプレゼンテーション	10月6日、10月20日、11月3日、11月17日	ケースリー(株)	公開授業(経済学特殊講義担当:高畑明尚、宮里大八) 受講生:19人(学外1人)
クラウドファンディング実践講座	地域が抱える課題を解決するため新たな資金調達手法である「クラウドファンディング」という手法で商品開発、サービス提供などの事業プランニングの手法を学修する総論的な内容を扱う	1-2 クラウドファンディングの国内外の潮流 3-4 クラウドファンディングのコンセプトづくり 5-6 クラウドファンディングのプランニング 7-8 クラウドファンディングの設定と公開準備 9-10 クラウドファンディングのエントリー準備 11-12 クラウドファンディングのエントリー 13-14 クラウドファンディングのプレゼンテーション 15 クラウドファンディング成果報告	12月8日～1月19日	沖縄ビジネスインキュベーションプラザ、沖縄ガールズビレッジ等	公開授業(総合特別講義Ⅴ担当:宮里大八) 受講生:7人(学外2人)

7

平成30年度 地域・政策人材育成分野のプログラム

プログラム名	プログラム概要	プログラム計画	開催時期	連携機関	公開講座・授業
ソーシャルキャピタル構築講座	沖縄の最重要課題として子どもの孤立や貧困等の地域が抱える課題について、地域とのつながりや異業種の連携、教育及び社会福祉等の地域事例となるケーススタディを中心に課題解決の手法を学修する総論的な内容を扱う	1. オリエンテーション「沖縄の社会関係資本(ソーシャルキャピタル)とは」 2. 社協活動と島マスのココロ ～教科書にはない、もう一つの視点・論点～ 3. 沖縄における健康関連産業の現状について 4. 沖縄における社会福祉の母島マスについて～人間島マスを語る 5. 住民視点で考える監査の役割 6. 沖縄市の観光の現状と課題 7. 沖縄のバリアフリー観光の取り組み 8. 学びあいつながる関係と場づくり 9. 子どもの貧困解消のための学校と福祉の連携について 10. 沖縄における社会的課題が集中しやすい人々の現状と課題 11. 南風原町子どもの孤立(貧困)対策の取り組み 12. 株式会社として地域福祉を変える取り組み 13～15. 総括討論(グループワーク、アクティブラーニング、ディベート方式)	12月1日～2月9日	沖縄市社会福祉協議会等	公開授業(総合特別講義Ⅵ担当:本村真、宮里大八) 受講生:5人(学外5人)

18

平成30年度 新たな人材育成プログラムの立ち上げ

プログラム名	プログラム概要	プログラム計画	開催時期	連携機関(WG)	公開講座・授業
地域子ども総合支援者基礎講座	子ども支援を始めたい一般の方や学生を対象に、作業療法士が持つ知識や技術をどのように学校現場に活用しているのかを学び、こども達を取り巻く環境や支援者のネットワーク構築の状況を知り、共に活動できる人材の育成を行う	第1回 学校教育のシステムについて 第2回 沖縄県子どもの貧困対策計画について 第3回 子どもの生活と社会問題①(ひきこもり、若者支援) 第4回 子どもの生活と社会問題②(不登校、子どもの孤立対策) 第5回 子どもの生活と社会問題③(虐待・養護施設・福祉・貧困対策)	9月1日、 9月15日、 10月6日	沖縄県、 南風原町、 沖縄県作業療法士会等	公開講座 受講生: 92人
地域子ども総合支援者養成講座	地学校現場や行政担当者、NPO職員などの経験や知識を持っている方を対象に、子どもの地域生活支援及び学校生活支援に必要な知識と技術を学び、学校も家庭も専門家も安心してチームを作り、地域と連携をした子供達へのサポートできる人材の育成を行う	第6回 コンサルテーションに必要な理論 第7回 作業療法の基 第8回 作業療法の基礎 第9回 コンサルテーションに必要な理論 第10回 感覚統合理論	11月23日、 11月24日、 12月2日	沖縄県、 南風原町、 沖縄県作業療法士会等	公開講座 受講生: 53人

19

琉球大学「地域の子どもを支援するインクルーシブ教育推進人材の育成プログラム」概念図

・地域の子どもを支援するインクルーシブ教育推進人材の育成プログラム

地域の子どもたちの支援等の積極的にニーズに応え貢献できる専門家になることを目指す。
全15回の講座は、作業療法士の有資格者へ提供する。

上記の公開講座を、受講者の対象者別に3つのプログラムに分類の上、それぞれにおいて受講者を募集し、講習料をそれぞれ定める。

地域子ども支援者養成講座

受講対象者: 学校現場や行政担当者、
NPO職員
講習料: 3,180円
全10回(講義時間15時間)
※うち5回は基礎講座と同一の内容。
全10回のうち、5回分を講習料免除とする。

地域子ども支援者基礎講座

受講対象者: 市民一般
講習料: 免除
全5回(講義時間7.5時間)

地域子ども支援者基礎講座

受講対象者: 市民一般
講習料: 免除
全5回(講義時間7.5時間)

地域の子どもを支援するインクルーシブ教育推進人材の育成プログラム

受講対象者: 作業療法士の有資格者
講習料: 10,000円
全15回(講義時間22.5時間)
※うち5回は基礎講座と同一の内容(講習料免除)。
※うち10回は養成講座と同一の内容。

地域子ども支援者養成講座

受講対象者: 学校現場や行政担当者、
NPO職員
講習料: 3,180円
全10回(講義時間15時間)
※うち5回は基礎講座と同一の内容。
全10回のうち、5回分を講習料免除とする。

地域子ども支援者基礎講座

受講対象者: 市民一般
講習料: 免除
全5回(講義時間7.5時間)

平成30年度 新たな人材育成プログラムの立ち上げ

プログラム名	プログラム概要	プログラム計画	開催時期	連携機関(WG)	公開講座・授業
地域の子どもの支援するインクルーシブ教育推進人材の育成プログラム	学校現場では発達障害を持つ児童生徒への対応が行き届かない現状において、作業療法士と教職員が連携をした子供達へのサポートできる人の育成を行う	1-2. 保育園・学校教育のシステムについて①② 3-4. 子どもの育ちに関わる地域のシステム①② 5. 子どもの生活と社会問題 6-7. 作業療法の基礎的理論①② 8-9. コンサルテーションに必要な理論①② 10. 感覚統合理論 11. 学校の作業療法とは 12. 協働関係の構築に重要な面接技術 13. 作業遂行評価と情報提供 14. 感覚統合の評価と実践 15. 事例を通して考えよう	9月1日～12月15日	沖縄県、南風原町、沖縄県作業療法士会等	公開講座 受講生：30人
星空案内人養成講座	星空案内人®(星のソムリエ®)は、星空案内人資格認定講座を受講し、所定の単位を取得した人が取得できる資格であり、宇宙や天文の知識を有し、地域で星空や宇宙の世界、またその楽しみ方を教えることのできる人材の育成を行う	1. 開講式、オリエンテーション 2. 星空の基礎知識 3. 望遠鏡のしくみ 4. 望遠鏡を使ってみよう 5. 星座を見つけよう 6. MITAKAを実演しよう 7. 宇宙はどんな世界 8. 星空の文化に親しむ 9. 星空案内人の実際 10. 認定式・閉講式	9月29日～11月24日	牧志駅前ほしぞら公民館、国立天文台等	公開授業(琉大特色・地域創生特別講義Ⅹ担当:松本剛) 受講生:30人(学外17人、サテライト30人)

21

平成30年度 地域・政策人材育成分野のプログラム

プログラム名	プログラム概要	プログラム計画	開催時期	連携機関	公開講座・授業
島嶼地域交流ファシリテーター養成講座	島嶼地域である離島が持つ特性や地域が抱える課題等について、離島交流を促進するコーディネーター、ファシリテーターを育成する総論的な内容を扱う	1. オリエンテーション、ファシリテーションとは、場のデザイン(アイスブレイク手法) 2. ファシリテーターの役割、プログラムデザイン 3. 構造化、合意形成のスキル、ファシリテーターの実践事例 4. 事例報告「世界自然遺産登録に向けた奄美・琉球の取組」 5. 事例報告「SDGs(持続可能な開発目標)に沿った観光プログラムづくり」 6. 南城市 久高島でのフィールドワーク 7. ファシリテーター演習①(島嶼地域でのプログラム企画提案づくり) 8. ファシリテーター演習②(島嶼地域でのプログラム企画提案づくり) 9. 最終発表及びフィードバック	1月～2月	ファシリテーション協会等	公開講座

22

平成30年度 地域・政策人材育成分野のプログラム

プログラム名	プログラム概要	プログラム計画	開催時期	連携機関	公開講座・授業
地域円卓会議マネジメント講座	地域社会の課題の解決をめざす対話の場である「地域円卓会議」のマネジメントを行える人材の育成するため、ケーススタディを中心に課題解決の手法を学修する総論的な内容を扱う	1. 円卓会議についての説明、今後の進め方オリエン、ここを通して得たいこと・伝えたいこと、円卓会議の再現(ファングラ貼り出し、映像等) 2. 円卓会議ができるまで、DAY1テーマ決め、DAY2キャスティング 3. 円卓会議の司会と進行について 4. 円卓会議のファシリテーショングラフィックについて 5. 子ども未来円卓会議 現場見学(運営実務) 6. 円卓会議活用者のインタビュー1 7. 円卓会議活用者のインタビュー2 8. 円卓会議を作るシミュレーションWS① 9. 円卓会議を作るシミュレーションWS②	12月～2月	みらいファンド沖縄等	公開講座

23

平成30年度 新たな人材育成プログラムの立ち上げ

[illegible]

24

平成30年度 新たな人材育成プログラムの立ち上げ

プログラム名	プログラム概要	プログラム計画	開催時期	連携機関(WG)	公開講座・授業
沖縄型医工連携基礎プログラム	琉球大学医学部および同附属病院、工学部および理工学研究科が連携して中心となり医工連携分野における医学系及び工学系のキャリア育成を行う。急激に発展するテクノロジーを活用し、医療機器等の開発をするためには、理工学に限らず、心理学、行動学、デザイン学を含めた学際的な分野の融合が必要とされている。また、琉球大学内の他学部・他研究科との連携した人材育成を行うだけでなく、県内の高等教育機関及び企業・団体とも連携を図る。	1. オリエンテーション/医療関連分野におけるスタートアップ 2. 沖縄における医療機器/健康産業の今後 3. CRO(薬事保険償還) 4. 事業プラン(沖縄型); 県内医療機器産業の実例 5. ニーズの特定①、現場観察①、現場観察② 中頭病院 6. ニーズの特定②、現場観察③、現場観察④ 浦添総合病院 7. 現場の振り返り、グループワーク、チームによる最終プレゼンテーション	11月10日～1月26日	一般社団法人ジャパンバイオデザイン協会等	公開講座 受講生: 9人

25

平成30年度 新たな人材育成プログラムの立ち上げ

プログラム名	プログラム概要	プログラム計画	開催時期	連携機関(WG)	公開講座・授業
IoTシステムセキュリティ実践講座(基礎編)	本講座では、一般的となっているセキュリティ検証ツールを用いたIoT機器の脆弱性評価方法について学ぶほか、攻撃者がどのようなツールを使い、どのような視点から攻撃を仕掛けるのか、利用者にどのような影響があるのかを学ぶ基礎的な講習を行う。 本講座を通して情報セキュリティの基礎や対策の施行のための実践的な内容を受講者が習得することを目的とする。	1. オープンソースセキュリティ検証(ハッキング)ツール講習会 Part.1 2. オープンソースセキュリティ検証(ハッキング)ツール講習会 Part.2 3. 脅威分析ワークショップ 4. 疑似スマートホームセキュリティ検証演習 5. IoT情報セキュリティ有識者の講演会1(調整中) 6. ハードウェアハッキングワークショップ - UART編 7. リバースエンジニアリングワークショップ 8. IoT情報セキュリティ有識者の講演会2(調整中)	12月頃		公開講座

26

地域認証システムの構築に向けて検討①

	認証機関	概要	認証	評価期間・開始時期	備考
1	一般財団法人 地域公共人材開発機構	各プログラム実施機関が実施する「地域公共政策士」資格教育プログラムについて、豊かな公共政策系人材の開発を促進するとともに、「地域公共政策士」資格教育プログラムに資するものであることを評価するために「社会的認証」を行う	初級地域公共政策士 3,240 円(税込) 地域公共政策士 12,960 円(税込) 「科目認証制度」 科目申請2 万円(税別)	評価期間 7年 2018年7月	社会的認証の費用 50万円 (税別)

No	プログラム名	プログラム概要
1	社会的インパクト投資基礎概論	沖縄という地域が持つ特性や地域が抱える課題等について、社会的インパクト投資という新しい形の課題解決の手法を学修する総論的な内容を扱う
2	島嶼地域交流ファシリテーター養成講座	島嶼地域である離島が持つ特性や地域が抱える課題等について、離島交流を促進するコーディネーター、ファシリテーターを育成する総論的な内容を扱う
3	地域円卓会議マネジメント講座	地域社会の課題の解決をめざす対話の場である「地域円卓会議」のマネジメントを行える人材の育成するため、ケーススタディを中心に課題解決の手法を学修する総論的な内容を扱う

27

地域認証システムの構築に向けて検討②

	認証機関	概要	認証	評価期間・開始時期	備考
1	一般財団法人 地域公共人材開発機構	各プログラム実施機関が実施する「地域公共政策士」資格教育プログラムについて、豊かな公共政策系人材の開発を促進するとともに、「地域公共政策士」資格教育プログラムに資するものであることを評価するために「社会的認証」を行う	初級地域公共政策士 3,240 円(税込) 地域公共政策士 12,960 円(税込) 「科目認証制度」 科目申請2 万円(税別)1ポイントあたり	評価期間 7年 2018年7月	社会的認証の費用 50万円 (税別)

No	プログラム名	政策的思考 (必須：初級特別講義の受講)	政策研究の基礎知識 (認証科目から選択)	政策得意分野づくり (1つの科目グループから選択)	政策基礎としての社会人基礎力 (認証科目から選択)
3	地域円卓会議マネジメント講座	2Point	4Point	4Point	2Point
1	社会的インパクト投資基礎概論				
2	島嶼地域交流ファシリテーター養成講座				

「政策的思考」の科目：2ポイント
・「初級特別講義」を受講し修了すること（COLPU 提供科目）。

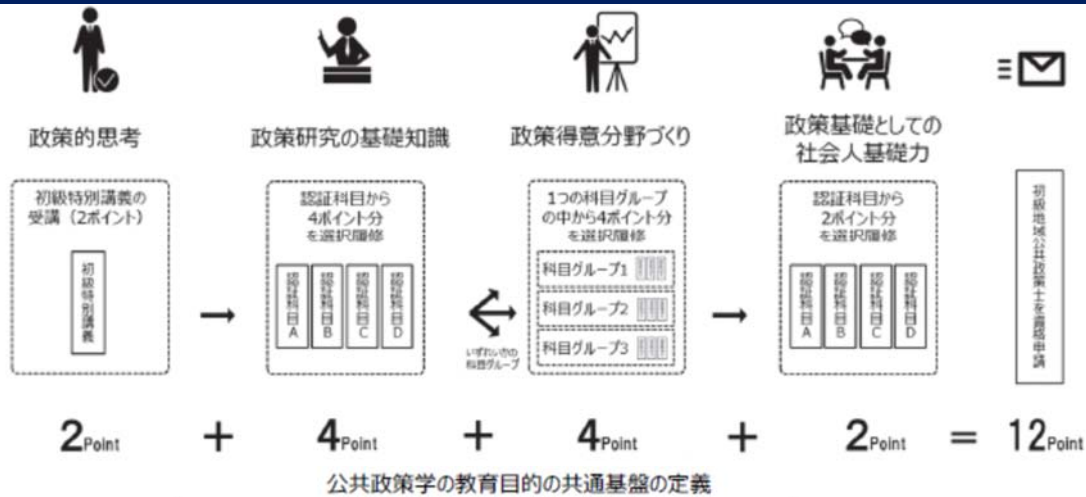
「政策研究の基礎知識」の科目：4ポイント
・認証された科目から4ポイントを選択履修

「政策得意分野づくり」の科目：4ポイント
・認証された政策分野の1つの科目グループから4ポイントを獲得すること。

「政策基礎としての社会人基礎力」の科目：2ポイント
・認証された科目から2ポイントを選択履修すること。

28

2018年度版「社会的認証ハンドブック」より参照

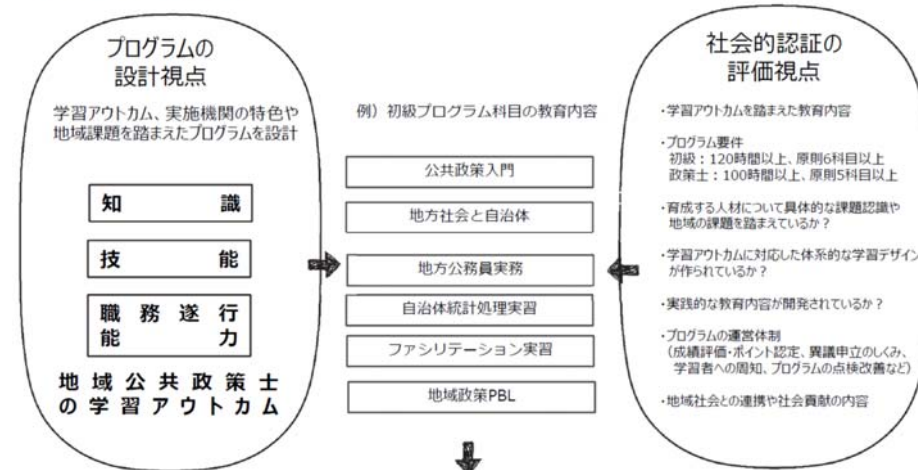


要素名	定義	接続する学習アウトカム
政策的思考方法	社会問題の解決、公共的諸課題への対応として政策を考える力を習得する。	知識、技能、職務遂行能力
政策研究の基盤知識	政策的に考えるための知識、技術、態度を身につける。	知識、技能
政策得意分野づくり	政策分野のうち特定の政策領域や研究手法についての専門性を持つ。	知識、技能、職務遂行能力
政策基礎としての社会人基礎力	チームビルディングやリーダーシップ、コーディネート能力、その基礎となるコミュニケーション力などを重視する。 ※アクティブラーニングとして現場での実践的教育が含まれる必要が	技能、職務遂行能力

29

2018年度版「社会的認証ハンドブック」より参照

資格教育プログラムづくり



※科目認定制度では1科目からでも資格制度に参画できます。

資格教育プログラムとして教育の質保証

社会的認証の評価フロー



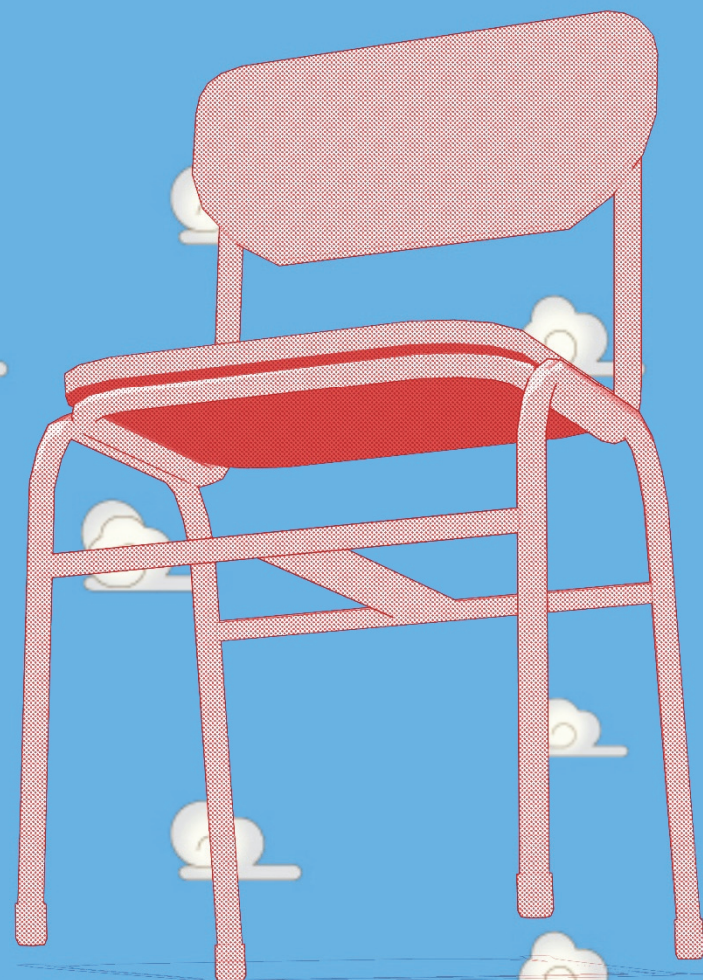
社会的認証手数料
資格教育プログラム：初回:50万円(税別) 2回目以降:40万円(税別)
科目認定：1ポイントあたり2万円

※社会的認証を受け認証を継続するには、法人会員登録が必要になります。
※資格教育プログラムは、地域公共人材開発機構が認証評価をして質保証をしています。
※認定科目の社会的認証評価は書面調査のみになります。

30

「地域公共政策士」

社会の課題から学んだ
負けないチカラ！



「地域公共政策士」は一般財団法人地域公共人材開発機構
が商標登録をしています。

小さな拠点！

社会的起業で
課題解決

人口減少との闘い

グローバルと
ローカルの活用術

ソーシャルデザインカ

エネルギー問題と
新ビジネスチャンス

地域資源の
魅力を探す。

地域公共
政策士
資格制度

地域公共政策士と初級地域公共政策士

地域公共政策士は、
政策課題に対してプロジェクトリーダー
としてチームマネジメント力を備えて、
課題解決を遂行していく力
を資格教育から獲得した方を指します。



地域公共政策士

初級地域公共政策士



Level.6

初級地域公共政策士は、
政策課題に対してプロジェクトスタッフや
サブリーダーとして課題解決にむけて
主体的に実践していく力
を資格教育から獲得した方を指します。

資格制度の特徴

特徴 1

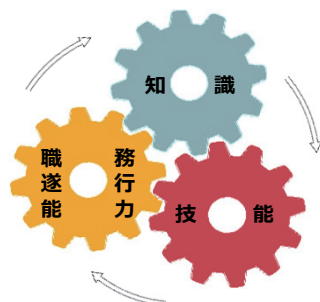
社会的
認証制度

認証を受けた資格教育プログラムを修了して資格
取得を目指します。
社会的認証では地域社会の課題を踏まえた人材
育成内容が評価されます。

特徴 2

3つの学習
アウトカム
による職能

資格教育プログラムでは、プログラムに設定されてい
るテーマに応じた知識・技能・職務遂行能力の3
つの学習アウトカムをバランスよく学び、職業能力
を身につけていきます。



特徴 3

着実な学習
ステップ

資格教育プログラムでは、
地域課題やフィールドに応じ
て様々なテーマ性が設定さ
れており、学習者の興味関
心や地域性に依拠して地域
公共政策士の能力を身に
つけることができます。

現実の社会課題や政策課題の中から学ぶ。

実践的な課題解決能力を身につける。



資格
取得
者の
声

学んだことは？

一番大きいのは、マインドの部分で
す。能力やスキルも重要ですが、そ
の根底にあるマインドを肌で感じる
ことができたように思います。

櫻本 昌子さん
(COLPU・HPより)

資格取得の動機は？

民間や行政の違いを超えて横のつながり
や協働関係をつくる橋渡し役を果たす地
域公共人材である「地域公共政策士」
の資格取得をひとつの到達目標として、
習得能力の「可視化」をめざしました。

橋詰 清一郎さん
(COLPU・パンフレットより)

資格取得者のホームページ公開



「地域公共政策士」資格申請の際に、
ホームページ掲載希望をされた方につい
ては、お名前、資格認定番号、修了プロ
グラム名を、地域公共人材開発機構の
ホームページにて公開しています。

資格取得者情報の掲載HP

<http://www.colpu.org/colpu-biz3.html#i7>



初級地域公共政策士の資格教育プログラム

初級プログラムは、特色2の学習アウトカムを踏まえて、政策テーマやプログラム実施機関の特色を活かして、よりテーマ性の高いプログラムが作られています。また、テーマに応じたアクティブラーニング（※初級プログラムでは現場での実践活用が必ずプログラムの教育に含まれています）を通じて社会課題の現場に触れることで、実践的な能力が養成されます。

- ☒ 初級地域公共政策士の取得方法
(学部レベルを想定)

初級プログラム

合計 120
時間の学習量

- ※認証されている初級プログラムを修了すると初級資格を申請できます。
- ※2つ目の初級プログラムを修了して、複数の地域政策に関する知識や能力を証明していくこともできます。

資格取得プログラム一覧 (分野別)

政策能力系

- ・政策基礎力プログラム
- ・政策能力プログラム（基礎）
- ・法政策基礎プログラム

地域課題系

- ・都市政策基礎能力プログラム
- ・環境政策基礎能力プログラム
- ・京都学教育プログラム

地域産業系

- ・グローバル人材プログラム

地域活性化系

- ・地域経営人材育成基礎プログラム
- ・地域振興能力養成プログラム
- ・地域マネージャー養成プログラム

地域文化系

- ・文化コーディネーター養成プログラム
- ・文化プロデュース力養成プログラム

初級プログラム実施機関

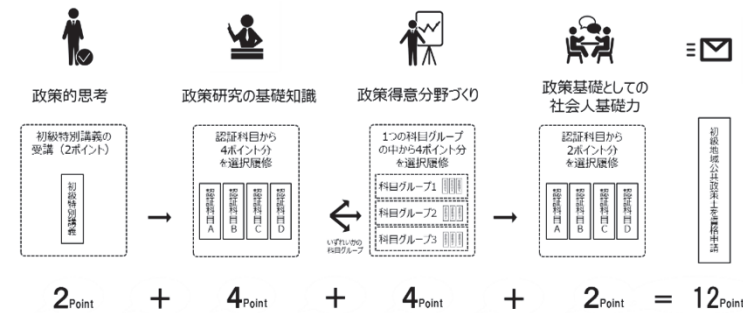
同志社大学、龍谷大学、京都大学、京都府立大学、京都産業大学、
京都文教大学、京都橘大学、佛教大学、福知山公立大学

初級地域公共政策士の学習アウトカム

知識	地域社会における様々な課題の背景や文脈を理解できる。	総合的な能力 地域課題に対応した業務を主体的に判断して遂行できる。
技能	複雑な課題に対して、具体的な解決方法を提起できる。	
職務遂行能力	特定のプログラムや課題について、業務を主体的に運用することができる。	

認証科目から初級地域公共政策士を取得する。 (2018年4月～開始予定)⇒認証科目の申請受付中

科目認証制度とは、大学コンソーシアム等で提供されている認証科目から所定のポイントを取得することで、初級地域公共政策士が取得できる制度です。科目には、「政策的思考」、「政策研究の基礎知識」、「政策得意分野づくり」、「政策基礎としての社会人基礎力」の4つのカテゴリがあり、学習者は認証科目を選択することで、学習デザインをしながら資格取得を目指すことができます。



地域公共政策士の資格教育プログラム

政策士プログラム（一部）

- ☒ 地域公共政策士の取得方法

特別講義、政策士プログラム、
キャップストーンプログラムの
3つのプログラムを修了する
必要があります。

合計 200
時間の学習量

地域公共政策士に求められる、政策的思考
や公共マインドを養成します。

専門的な政策知識や
分析方法についてプロ
グラム科目から習得し
ていきます。

チームで現実の政策課
題に取り組み、チーム
ワーク、政策提言能力、
政策分析力を実践し
ていきます。



特別講義
(20時間程度)

政策士
プログラム
(100時間程度)

キャップストーン
プログラム
(80時間程度)

政策能力プログラム(応用)
「食農政策士」履修証明プログラム
「地域公共マネジメント」履修証明プログラム
地域政策形成能力プログラム
協働型 <つなぎ・ひきだす> 対話議論能力プログラム
環境まちづくり能力プログラム
法政策・地域公共プログラム
地域公共政策士実践力養成プログラム
自然を尊敬して京の森林をつくるプログラム

政策士プログラム実施機関

同志社大学、龍谷大学、京都府立大学、京都産業大学、
佛教大学、京都府立林業大学校

地域公共政策士の学習アウトカム

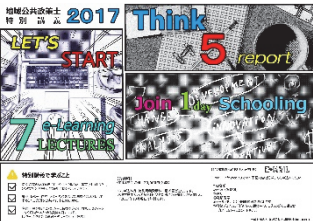
知識	課題を創造的に解決するために必要な地域社会の再構成について理解できる。	総合的な能力 地域課題に対応したプロジェクトを主導的に発動し遂行できる。
技能	地域社会の課題をめぐる状況を判断し、その状況を改善できる。	
職務遂行能力	特定のプロジェクトや課題について、責任者として業務を遂行できる。	

キャップストーンプログラム（一部）

キャップストーンプログラム（同志社大学）
キャップストーンプログラム（京都府立大学）
地域公共人材キャップストーンプログラム（龍谷大学） など

CPプログラム実施機関

同志社大学、龍谷大学、京都府立大学、京都産業大学、
京都府立林業大学校



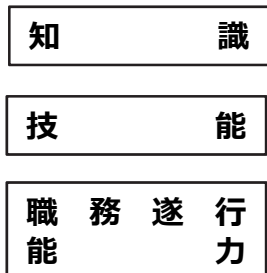
特別講義でのまなび

- ☒ 特別講義の受講を通じて、公共への理解と、産官学民（セクター）のつながりを理解し、地域社会像を考えていきます。
- ☒ 講座の受講⇒レポート作成⇒スクーリング参加を通じて地域公共人材として求められる資質や公共マインドを身につける。
- ☒ 産官学民それぞれのセクターの特徴や違いを理解し、セクターをつなぐ話し合いができる資質を身につける。
【スクーリングでの政策思考型ブレインマップ20問への参加】

資格教育プログラムづくり

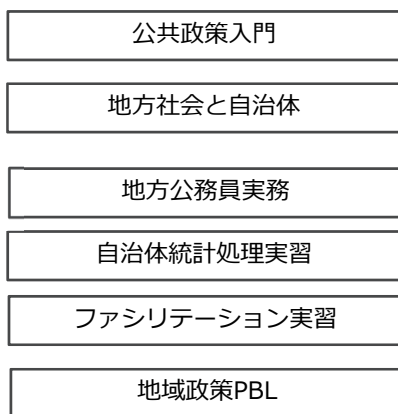
プログラムの設計視点

学習アウトカム、実施機関の特色や地域課題を踏まえたプログラムを設計



地域公共政策士の学習アウトカム

例) 初級プログラム科目の教育内容



社会的認証の評価視点

- ・学習アウトカムを踏まえた教育内容
- ・プログラム要件
初級：120時間以上、原則6科目以上
政策士：100時間以上、原則5科目以上
- ・育成する人材について具体的な課題認識や地域の課題を踏まえているか？
- ・学習アウトカムに対応した体系的な学習デザインが作られているか？
- ・実践的な教育内容が開発されているか？
- ・プログラムの運営体制
(成績評価・ポイント認定、異議申立のしくみ、学習者への周知、プログラムの点検改善など)
- ・地域社会との連携や社会貢献の内容



※科目認証制度では1科目からでも資格制度に参画できます。

資格教育プログラムとして教育の質保証

社会的認証の評価フロー



社会的認証手数料

資格教育プログラム：初回:50万円(税別) 2回目以降:40万円(税別)
科目認証：1ポイントあたり2万円

※社会的認証を受け認証を継続するには、法人会員登録が必要になります。
※資格教育プログラムは、地域公共人材開発機構が認証評価をして質保証をしています。
※認証科目の社会的認証評価は書面調査のみになります。



地域公共人材開発機構ホームページでは、資格制度や社会的認証に関する最新の情報をアップしております。

<http://www.colpu.org/>

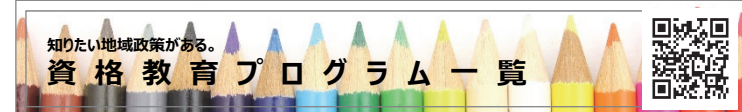
資格取得者情報 ※資格申請時にHP掲載希望を出された方のみ。



特別講義の受付案内



資格教育プログラム一覧



社会的認証ハンドブック



科目認証制度 ※認証科目一覧は認証後に掲載予定。

